#### 上田地域もの・こと交換制度









**蚕都くらぶまーゆ会報** 



2002年11月10日発行

1 周年特集





ま~ゆ連絡先 代表 安井啓子

〒386-0001 上田市 上田 2576-16

TEL/FAX 27-3186

メール <u>ma-yu@ml.melma.com</u>

ホームページ <a href="http://www.ued.janis.or.jp/~ma-yu/">http://www.ued.janis.or.jp/~ma-yu/</a>

(Yahooの検索で地域通貨ま~ゆでも開きます)

#### 蚕都くらぶ・ま~ゆ の 1 年を振り返って

代表世話人 安井啓子

この数年全国の市や町や村で「地域通貨」への関心が高まり、取り組みが進められています。長野県内でもさまざまな学習会や実践が始まっています。

何故、今「地域通貨」が多くの人に注目され期待が集まっているのでしょうか?

それは、これまでの経済を中心とした競争と効率優先、言い換えれば"お金が全て"の価値観の中で自然環境破壊が進み、農林業の衰退や"食"の安全性に対する不信、不安もかつて無いほど広がっています。この"お金"に振り回されてきた暮らし方を見つめ直し、地域に暮らす人々が主人公の地域づくりを自分達の手で進めていきたい!という願いが大きくなっているからではないでしょうか。

「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」も誕生して1周年を迎え会員も130人近くになりました。そこで、これを機に"ま〜ゆ。の理念について改めて確認してみたいと思います。

#### 上田地域モノ·コト交換制度:蚕都くらぶ·ま~ ゆ

私達は地域の豊かな自然や人々が持っている知識・技術・人柄が本当の財産であると考え、その財産を真に価値あるものとして活用し、お互いに交流する事で、地域の人々が繋がりを深め、共に生きる仲間として「楽しく、心地よく暮らせる自立した地域づくり、人間関係づくり」を目指してきました。"ま〜ゆ"はこの趣旨に賛同した人たちが自発的に参加し運営していく制度です。"ま〜ゆ"は全国に数ある地域通貨の中でもかなり緩やかなルール(最低限?)で運営されています。それは、参加者一人一人の知恵と力がこの制度を支え、豊かに創造して行くものと考えているからです。

一応"世話人会"(この名称も一考ありかな?)はありますが、これはこの制度が機能し流れがスムースに行くようにお手伝いしているにすぎません。運営の基本はあくまでも一人一人の自主性と自己責任に基づいた参画です。これからもこの点を大事にし合っていきたいと思います。

この 1年の間に会員相互の交流やモノ・コトの交換が多種多様に行われた ばかりでな

く、味噌作りや米作りプロジェクト、塩田の 札所めぐりの会のようなサークルも生まれま した。

会員さんからは「ま〜ゆ市に参加して人の繋がりが広がった」「人間関係が"金,に囚われないところが良い」「地域の交流が豊かになった」と言う声が寄せられています。

一方、「みんなが気楽に集まれる場所があると良いね」「もっと会員同士のコミュニケーションが深まるといい」「地域通貨についてもっと知りたい」などの要望も出ています。

この間の世話人会では、会員の皆さんに情報をどのように流したら良いのか?出来るだけ会員相互間の情報格差を少なくするには? "ま~ゆ"をもっと使いやすくするに

は?・・・などを話し合ってきました。

一番良いのは毎月10日に開ぐま〜ゆ市。に参加して情報を交換したり、モノ・コトの交換をしてお互いに仲良くなる事ではないかと思っています。また、隔月発行の会報をま〜ゆ市に来て受け取っていただくことも大切な事です。しかし、当日都合が悪かったり遠方だったりして参加できない方もありますので、会員さんのお店で"ま〜ゆ会報。を置いて下さる所を申し出ていただき協力してもらっています。

また、夜のま~ゆ市には出づらい方や都合が付かなかった方の為に10月から昼間集まる場所をつくる事になりました。毎月第三木曜日の午前10時から12時に「木曜ま~ゆサロン」(七田チャイルドアカデミーにて)です。ご利用ください。その他、地域通貨の学習講座「エンデの遺言ー根源からお金を問うことーから学ぶ」を企画検討しています。

このように"ま~ゆ,は参加者ひとりひとりが意見やアイデアを出して、自分達でよりよい物に創り作り変えていくものでもあります。会報6号で「ま~ゆを夢育てのフィールドに!」と書きましたが、このフィールドをどのように耕やし、どんな種を撒くかは私達一人一人です。みんなで願いや想いを持ち寄りながらじっくりゆっくり実らせていきましょう。

どうぞ皆さんのご意見、アイデアなどをメール、FAX、お手紙でお寄せください。

#### ま~ゆ1年の軌跡 (立ち上げまでの経過は後日機会を見て掲載します)

2001年	
11月10日	●第1回ま~ゆ市 会場=市民会館
	●会報1号発行
12月10日	●第2回ま~ゆ市 会場=中央公民館
	●会報2号発行
12月23日	●もちつき大会 会場=のんどりハウス
	約40名参加
2002年	
1月 6日	●ま~ゆ紹介記事、読売新聞に掲載
1月 9日	●ま~ゆ紹介記事、信濃毎日新聞に掲載
10日	●第3回ま~ゆ市 会場=中央公民館
	出席者約40名
	NHKクローズアップ現代のビデオ鑑賞
	●会報3号発行
2月 5日	●長野県企画課(加藤氏)まーゆを取材
	=対応安井
2月10日	●新年会(第4回ま~ゆ市)会場=熱勝
	出席者約40名
	●ま~ゆチラシを図書館等に配置
2月24日	●足利市 J Cメンバー視察 まちづくり
	団体と懇談(教育委員会会議室)=6名参加
2月28日	●武石村地域通貨学習会に参加
	ま~ゆについて報告=安井・田中
3月10日	●第5回ま~ゆ市 会場=図書館
	地域通貨の説明コーナー
	●会報4号発行
2月14日	●上田市役所 4 課(企画·生活環境・福祉・商工)と
	地域通貨・エコマネーについての意見
	交換会=安井・中島
	●味噌作りプロジェクト発足
	●上田市から「元気な街づくり支援事
	業」助成金を受給
4月10日	●第6回ま~ゆ市 会場=中央公民館
5月 1日	●長野大学 古田ゼミ
	ま~ゆの取り組みについて講義
	=安井
5月10日	●第7回ま~ゆ市 会場=中央公民館
	SBCテレビ県民室の取材(6月2日放送)
	●会報5号発行
5月20日	●東部町社協ボランティア協議会
	地域通貨とまーゆの取り組みについ
	て講義=安井

	●田んぼプロジェクト発足(6月2日田植
	え)
6月 1日	● "地域通貨フォーラムin信州2002春,"
	(パネラーに安井代表)に参加=7名
6月10日	●第8回ま~ゆ市
	会場=市民プラザゆう
7月5日	●丸子町商工会地域通貨学習会に参加4
	名 講師=安井
7月10日	●第9回ま~ゆ市 会場=中央公民館
	●会報6号発行
7月14日	●蓮田市の地域通貨準備グループに
	出張説明=中島·前田
8月10日	●第10回ま~ゆ市(じゃがいい~ティー)
	会場=須川地区のグラウンド
8月29日	●長野 NPO センター(村田氏)まーゆ取
	材=対応安井
9月10日	●第11回ま~ゆ市 会場=中央公民館
	(介助犬アルファも入会?)
	●会報7号発行
	●NHKテレビ取材 (ローカルニュース)
9月20日	●長野中小企業センター(4名) 取材·懇
	談=安井·中島
9月25日	●日本農業新聞に田んぼプロジェクト
	記事掲載
"	●上田市地域通貨説明会に参加=田中・
	木下
9月29日	●須川の田んぼ稲刈り
10月10日	●第12回ま~ゆ市 会場=中央公民館
10月16日	●第1回木曜ま~ゆ
	七田チャイルドアカデミー
11月 2日	● "地域通貨フォーラムin信州2002秋,,に
	参加=7名

- \*毎月(20日頃)世話人会を開いています。
- \*編集会議は随時、世話人会と兼ねる場合もあり ました。

#### 田んぼプロジェクトだより

#### "手塩にかけた有機米の甘かったこと"

No2 ごんべえこと中島邦夫

10月24日、雨にたたられて延び延びになっていた脱穀をついにやりました。乾き具合はいまいちでしたが週末の天気がまたまた雨予報、強行する事にしたのです。ウイークデーなので都合が付いて集まったのは精鋭6名。

「こんなひでーとこだと知ってたらおら引き受けなかっただに!」と脱穀機を持ちこんで駆けつけてくれた坂城の宮ちゃんは、いささかむくれ気味。なんとか急な畦畔をバックで一番上の田んぼに下ろし、脱穀開始です。5 枚の棚田約200坪を1時間程でコキアゲました。収量は30Kg 袋で8 俵、240kg でした。(普通の栽培法だと300Kg 位が目途ですが)上出来です!地元の老人も「良く取れたに」と少々あきれ気味にほめてくれました。我等の完全有機米栽培の記念すべき第一歩です!思えばあの荒れ果てた棚田が素人集団の我々の手で見事によみがえり、実を結んだのです。

お昼を食べながらこの1年の思い出話に花が咲きました。そしていつもの様にこの須川 の里山全体の故郷作りに夢が膨らんだのでした。

収穫祭は11月10日のま~ゆ祭りでと決まっていたのですが、皆待ちきれません。その夜早速精米して我が家で味見会をしてしまいました。水分が多くて(翌日水分計で調べたら 18.8%もありました。通常は15~16%が良いとされています。このままではかびてしまう恐れがあるので、通風乾燥で調整をお願いしました)やっと精米機に掛かる状態で籾殻が入っていたりふすまの匂いがしましたが手塩にかけた自分たちの米は思い入れもひとしおで、皆ほうばった

後「うーん」と一様にうなってから誰ともなしに「何とも言えない甘味がじんわりとこみ上げてくるね」と決して美味いとは言えない米をいとおしんだのです。 (ホーおじさんの掲示板のコメントを入れる)

この1年間大勢の仲間が棚田での米作りに参加して、実際に汗を流しながら作業をし収

穫の喜びを知りました。この経験は何よりも貴重でした。一人一人の力は小さくても大勢が力を合わせることで考えもしなかった事が出来たのです。このプロジェクトは米作りを通じて棚田と里山を復活させ、須川に住む

28戸、平均年齢はおそらく70歳はゆうに越えているであろう人々との交流を通して私たちが忘れてしまった心の故郷をもう一度取り戻してみたいのです。

そこには私たちにとって何よりも大切な癒しの場があるからです。



#### **ま~ゆな人たちが好きだ!** №.3ホーおじさん

なんだか子供銀行みたいだけど、人と人が繋がるんだから楽しそうだ。な~んて軽い気持ちで地域 通貨ま~ゆの設立に参加した。そしてコノー年間にま~ゆで出会った人たち、ま~ゆが無ければ出 会う機会が無かった人たち。そんな風に考えると「ま~ゆは人間財産」とつくづく私は思ってしま う。高校生のころから『田舎のべたべたした人間関係』なんて嫌なこった。と極力、人付き合いを 少なくしてきた。そんな私が今ではま~ゆの人たちを財産と思っている。人間変われば変わるのも。 損得じゃ動かないけどハートで動く人たち。自分に誇りを持ち他人の誇りを尊重する人たち。長い 人生で培った経験や想いを共有しようとする姿勢。こんなま~ゆの人たちと繋がって私は幸せ者。 だから上田が好きになった。人付き合いが楽しくなった。10 日が楽しみになった。棚田が大好き になった。やりたい事がどんどん増えて困った事になった。う~ん、ま~ゆな人たちがますます好 きになった。

#### いわ

会員にはユニークだったり、難解なニックネ つけた人がたくさんいらっしゃいます。 をシリーズにしました。

習っしての砂心か

じどへいなんて

んな名前の

M

われです

もひとつ、好きな番

子供の頃から落語のファン。もちろんラヂオで聞いただけ。

トンチ教室と聞いて分る方はもうだいぶ少なくなってきたのではないでしょう かれこれ五十年前、JOAKで毎週流れていた人気番組を欠かさず聞いてい

# いちゃあいけません、普通の文に戻します。 た少年。それが都々平こと会員№50の前田でした。言葉遊びの巧みさに魅せら 組が青木先生・石黒ダンナ、トンチ教室これでした。おっとついつい七五調、鼻につ

あります。

では現代どどいつに進化し、創作の文芸として広まりつつ

せんか。折りしもその頃から、私の年賀状は、その年の干支を使って、家族の近 れ、中でも『織り込み都々逸』のおもしろさは、前田少年に強烈な印象を焼き付 芸の一つで、七七七五の音節で成り立っています。佐渡おけさ・小諸馬子唄等民 うせなら□と、この織り込み都々逸に変えたのでした。 込み都々逸』が。「第二土曜日、NHKが、十一時から、やっている」ではありま けました。 それから 10年 20年……、 忘れた頃にNHKラジオでなんとあの『織り 況を紹介するスタイルをシリーズものとして展開していましたから、「そうだ、ど 都々逸ってなーに?。にお答えしましょう。短歌・俳句・川柳と並ぶ短詩系文 謡に多く、かつては芸者のお座敷芸として盛んでしたが、今

覚えなくていいからそう呼んでくれ」と申し上げています。よろしくお願いします。最後にひ たニックネームにはいささかの気恥ずかしさを拭えません。会報5号の9ページ、このレベルで しかありません。でも、ま〜ゆで「都々平さん」と呼ばれるのはとっても嬉しくて「本名なんか 織り込み都々逸のウデは 向に上がらず、投稿してもボツばかり。都々平なんて大それ 私は一応、七五調での文体を特技にしているつもりです

が、

## 砂っともないよと ②きから言われ 心惑いながらも 顔

とつ本名の光俊を織り込んで。

-4 -

#### のび念さんのは一切歌目令 07 00%

毎回おなじみ(マンネリ化?)になりました、自転車のパンク修理。

今回もさえさん、ホーおじさんより「お助け」が まいりまして、素人まるだしのドタバタ修理劇を 演じてしまいました。今回は内容を省き(ご興味 のある方はご両人にお聞きください。とっても笑 えます)大好きな自転車についてお話ししたいと 思います。

「自転車」といえば多くの皆さんが日頃の買い物 や通勤通学に利用されていると思いますが、車道 を走ればクルマの邪魔者扱いにされ、歩道では歩

行者ににらまれ、また、駅前の 放置自転車や盗難に遭いやすい ことなどが社会問題ともなって いて、どうも我が国では販売台 数やその高機能の割に人気者と は言い難い代物。

ところが最近この自転車がにわ かに注目されてきています。国

交省なども街中の自転車道整備に前向きで、例えばいままで四車線の自動車道を二車線にして、空いたスペースに歩道、自転車道、緑地帯の整備をすすめる・・なんてうれしいことが計画されています。その条件としては周辺部に自動車専用道やバイパスが整備され尽くされていること・・といったような内容で、いったいどこまで造れば、というマユツバものではありますがね。

その背景には地球温暖化などの環境問題があり、 ヨーロッパ(特にオランダ、ドイツ)にはお手本 とされる自転車道のよく整備された都市がいたる ところに見られます。

(といっても悲しいかな1度も行って見たことが ないんです。トホホ・・)

自転車を取り巻く問題の解決策の一環としてさまざまな試みが始まっていますが、末永く大切に乗るといった意味からも、いわゆる「ママチャリ」ではなく、少し高額な自転車を買ってみませんかと提案いたしたいのです。(まーゆ会報で気が引けますが)といいましてもドロップハンドルのスポ

ーツタイプや、ゴツゴツタイヤのマウンテンバイクでは街中で実用性がありません。両者のいいとこ取りをして今俄然注目の的となっているのが、その名もクロスバイクと言われている一群です。お値段的には5万円位のもから(上はキリがありません)このクラスになるとディレイラー(変速機)も12段以上は付いていて上り坂でもラクラク。色もカラフルでとってもおしゃれ。

で、はっきり申し上げましてこれらに初めて乗る と、自転車に対する認識がまさにコペルニクス的 に変わる事請け合いです。これは本当のことです

> よ。多少の気力さえあれば、 自分の足というエンジンで どこまでも行けてしまうよ うな感覚に襲われます。 排ガスも出さないから空気

も汚さず、健康にもよいで しょう、お酒を飲んでも大 丈夫(ホントはいけません)

まさに一石二鳥。しかも維持費はほとんどゼロと言ってもいいですね。

で、最後に日頃まーゆのお助けパンク修理で営業妨害?している自転車屋さんを擁護する訳ではありませんが、もし皆さんがこれから新しい自転車を、とお思いでしたら、ぜひ是非ご近所の自転車屋さんから購入しましょう。

いま、昔ながらの自転車屋さんはホームセンター などの安売り攻勢と後継者難でチョッと元気があ りません。

でも、いま頑張っている自転車屋さんのおじさん たちは根っからの自転車好きですから、きっと親 身になって相談に乗ってくれるはず。

我が家でも5人家族で自転車7台。自転車仲間の 愛車も含め、すべて30年以上お付き合いのある 自転車屋さんにお世話になりました。

自転車専用道や駐輪場がいたるところに整備され、 自転車屋さんだけでなく小売店さんが活気のある 素敵な街上田になることを夢見ています。





#### 連

# 喜多さんの四国外中外分別

### 人間本来のリズ ムとテン ポ

五十日の日々をただひたすらに歩くという行為のみが要求四国八十八ヶ所の札所を徒歩で巡礼するには、四十日から 中で物事を考えるようになっていくものです。 される。そんな『歩く』という人間本来のリズムと テンポの

うか。 る。 ある。 進はなく、 速二百五十キロで走る新幹線なら十分もかからない距離 の 行動範囲しかなく、車社会の現代にあっては小一時間、時 人間が歩いて行動するには、一日に三十キロから四 頼れるものは已の二本の足であり、 自分がその一歩を踏み出さなければ、その日一日の そんな距離を毎日八時間から十時間もかけて歩き続け ただ空虚な時の流れを作り出すだけでしょう。 気力ではないでしょ + 十口 前 で

尺度は今の私達とは違っていたことでしょう。持ち合わせていなかった時代の人にとっては、不便と感じ が身体に染み付いた現代の私たちには、ほんの些細ない遅幹線が止まったと聞けば、「なんでだ」と文句を言う。 便利 少しでも渋滞すると不満を言う。コンピューターの故障で も当たり前のように思い込んではいませんか。大雪で道路が < れて日々過ごしている。自動車を利用し新幹線が開通して 度は今の私達とは違っていたことでしょう。 なったといって喜んでいる。それらの交通手段の存在がさ 現代社会に暮らす私達は種々さまざまな道具と物に囲 不足が不便だといわせてしまう。そのような移動手段を 便利さ 新 速 ま

> で、 験でした。『原点に戻る』頭の中だけ てみてはどうでしょうか。 に近い環境の中に自己を置いて考え もう一 を作り出して満足していませんか。 た時間は、 そ ような行動環境に自分の身を置き、 の限られた空間の中で過ごしてき ٦ 机上の計画書の中だけで『原点』 のような人間の原点とも言え 歩踏み込んで、より『原点』 私にとって大変貴重な経

す。 ねる時間を得たことに感謝していま えたことに感謝し、 であるこのような環境と空間に出会現代社会において貴重であり稀有 その中に身を委

、青菜

かつを

はんとくろうくろ たまなどかいたっぷくり

れも しれません。 『お大師様の 北 村 明 お 義 か げ な

> の か

ŧ C

> 民店高知屋の 夕食 1泊2食松込 ¥5.500



その壱



#### 地域通貨って何? エンデの遺言を観て理解を深めよう

- ●『入ってよかったなー』人生が変わったように喜々としている人。
- ま~ゆ市に出たり出なかったり、何となく取引してみても、もひとつ納得がいかない人。
- ●『そのうちに何かいいことが』今は様子をうかがって、出番を待っている人。
- 入ったけれど『どうも遠慮で…』と一歩が踏み出せない人。
- 何となく入ってはみても、理解しにくくて名簿に載っているだけの人。

140 人のま~ゆ会員にはさまざまな人があるようです。それぞれ、それでいいのでしょうが、何故 地域通貨が生まれ、何故これが世の中に広がり、今 何故これが求められているのか?。もう一度「地域通貨って何?」を学んで、より深く理解することは大変有意義なことだと思います。

地域通貨を知る上で、NHKの番組【エンデの遺言】は格好な教材です。まだこれを見たことのない会員はもちろん、既に見られた方ももう1度原点を探ってみられたらいかがでしょうか。

地域通貨が分るビデオとカセットテープは世話人から借りることが出来ます。また、疑問がありましたら、いつでも世話人に話し掛けてください。

#### 木曜ま~ゆサロンのお知らせ

毎月第3木曜日午前10時から12時七田チャイルドアカデミーにて

10 日の常会に都合がつかない人、昼間しか出席できない人、またお茶を飲みながらゆっくりお話をしたい人達に合わせた別枠のま~ゆ市です。

ロビー・A教室・B教室の3つのコーナーを使用できます。ロビーにはアメリカ製アンティック薪ストーブがあなたをお待ちしております。お友達の参加もOKです。

お問い合わせ

上田市中之条 101-1 利幸第 2 ビル 201

七田チャイルドアカデミー□ 23-2952 七田教室 竹田まで



No.4 いじこ

ま~ゆが始まった頃、何でこの忙しいのに、と気を入れている夫を横目に、わたしはしらんふりをしてました。

(心のつぶやき)「マタマタ、世話人なんか引き受けてからに、うちは協力せえへんでえ」・・。

朝の連ドラの主人公のようにつぶやいていました。そうこうしているうちに夫は娘を巻き込み、ホームページを作ってもらい、麦わら帽子の愛らしい我らが「まっくん」が会報の表紙を飾り、気が付くとドップリま~ゆ人間になっている自分がいました。「NO. 4のいじこです」で始まるメールのお知らせは今や定番になってしまいました。

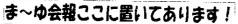
根っからの怠け者で、気が早くて力無し、こんな私にま〜ゆはピッタリと来たんでしょうね!? 世話人会は美味しいコーヒーとみんなの楽しい笑いがあるから大好きです。安井さんや、かっちゃく、 ごんべえ、都々平、あやちゃん、いろんな人から学ぶことも多々あります。どなた様も是非一度世話 人会にも来て下さいね、大歓迎ですよ!!!

#### 編集後記 No.3 ホーおじさん

1周年記念の会報も都々平さんの多大な尽力によって発行されました。朝から夜まで。アレやコレやの変更にも、つぎつぎ出てくる原稿にも、小柄な都々平さんは広~い心でうけとめてくれます。無責

任に想いだけ言い散らかす私は都々平さん にひたすら「感謝!」しか言葉はありません。 次回の 1 月号は少しは役に立つよう努力し ます。





□ フリーマーケットのんどり TEL 26-9355

上田市上田原・華龍飯店となり

□ 上田市立図書館 TEL 22-0880

上田市材木町1丁目

□ 熱 勝 (ねっしょう) TEL 29-3880

上田バイパス秋和・長野県酒販前

□ 甲田はきもの店 TEL 22-1272

上田市中央4-6-24



ま~ゆ会計報告は

別紙参照です

G

12月10日以 おた~ 映公民館で

ま-ゆ市は

まりを報えなり

パタノコン大生が、!

2月上度の

プロジェクト

アイヤマなると